

本校の特徴 京都府内唯一の夜間定時制工業高校

夜間定時制

授業は夕方5:30からはじまる
朝から仕事にいき、生きる力を身につける
いろんな仕事を体験し、自分の仕事を見つける
卒業後、正社員での継続雇用で就職も可能



工業高校

ものづくりを通して、一人ひとりが興味を持てる授業を
実習は個別指導を徹底しています
2年次からは専門系列を選択



橋梁模型



ICTを活用した授業に取り組んでいます。

単位制

圧倒的な少人数授業を実現
(H31年度は、講座によって1人~14人)



教育課程表 (2019年度入学生用)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1年次	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目	基礎科目
2年次	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目
3年次	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目
4年次	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目

工業科必修選択科目 4年次選択科目

工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	工業科必修	
電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2	電気基礎	2
電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2	電気応用	2
電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2	電気設計	2
電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2	電子回路	2
電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2	電気制御	2
電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2	電気安全	2
電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2	電気法規	2
電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2	電気経済	2
電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2	電気倫理	2

学年を上げるにしたがって工業専門科目が増えます。
1年次は普通科目がほとんどです。

土木系

安全・安心の街づくりを君の力で!

土木は道路・鉄道・空港・港湾などの交通施設の建設、これに伴う橋・トンネル・水路などの建設をはじめ、ダム・上下水道・宅地造成、また河川などの自然の維持管理など幅広く我々の生活と文化の発展に貢献しています。

本校の土木系では、これらの土木事業に従事できる土木技術者の養成を目指しており、製図・測量・実習などの体験型授業を中心に、社会基盤工学・土木基礎力学・土木構造設計・土木施工などを学びます。

さらに、学習の総まとめとして、4年次では道路設計やコンクリートの学習を行います。

なお、在学中に測量士補や2級土木施工管理技術検定学科試験を受験することができます。
ブリッジコンテストにも参加しています。

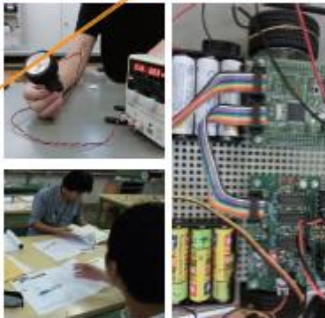


電気系

現代の生活に欠かせない電気

電気は現代の生活に欠かせないものです。その電気を安全に利用するには電気に関するさまざまな知識や技術・技能を持った技術者が必要です。

電気系では、このような電気に関わる技術者の養成を目指しています。2年次以降、電気理論の基礎、電気の作り方、電気の利用の仕方、電気工事に関する技術・技能などを体系的・体験的に学びます。これらを確実に身につければ、在校中に第二種電気工事士(一般財団法人電気技術センター)の資格を取得することも可能です。

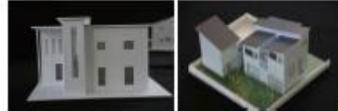


建築系

建築物のデザインと施工

建築系は、衣・食・住の「住」を支える建築技術、建築に関する知識(建築構造・施工・設計・計画・法規・製図・実習・構造力学)を基礎基本から学習するための系列です。

建築系の所定の単位を修得して卒業した者には、実務経験3年を経て、二級建築士の受験資格が与えられます。また、在学中に2級建築施工管理技術検定学科試験を受験することができます。



学校生活



主な年間行事

- 遠足 (4月)
- 4年次修学旅行 (5月)
- 生徒総会 (6月)
- ボウリング大会 (7月)
- 体育祭 (9月)
- 文化祭 (11月)
- 生徒会選挙 (11月)
- 球技大会 (11月)
- マラソン大会 (1月)

部活動

陸上競技 剣道 ソフトテニス 山歩
バスケットボール コンピュータ 機械工作 芸術文化
演劇 軽音楽 マジック 演劇倶楽部

過去5年で全国高等学校体育連盟主催の体育大会に出場した部
ソフトテニス・剣道・バスケットボール・陸上競技



最近3年間の進路

就職 双和電機㈱ 京都美術化工㈱ ㈱アクトファクトリー ナガタ工業㈱ ㈱ミズタニ
アデック京都㈱ ㈱浅野 京都エレクトロン㈱ ㈱共盛輸送 ㈱ロマンライフ

進学 中央工学校OSAKA 京都建築専門学校 京都建築大学校 京都理容美容専門学校
京都府立京都高等技術専門学校

給食について

本校では、生徒諸君の健康を守るために登校後、給食を食べ、授業を受けることを目指しています。給食は毎日の生活リズムを整える上でも、栄養の面でも欠かせないものです。

給食費は、一食あたり220円です。原則として食券を半期（前期・後期）ごとに事前で購入して利用します。

時間割

- 第0時限・・・4:30～5:15
- 給食・・・5:00～5:30
- 第1時限・・・5:30～6:15
- 第2時限・・・6:20～7:05
- 給食・・・7:05～7:30
- 第3時限・・・7:30～8:15
- 第4時限・・・8:20～9:05

必要な経費 (2019年度参考)

- 入学金・・・980円 ○授業料（年間）・・・15,000円
 - 諸経費（日本スポーツ振興センター・生徒会費など）／（年額）・・・6,185円
 - 修学旅行積立金／（年額）半期ごと分納・・・30,000円
- 【以下の制度は学校を通じて申請し、認められた場合に利用ができます】

- ①定時制修学奨励金 月額 14,000円貸与（卒業すれば返還免除）
- ②京都府高等学校修学資金 月額 18,000円貸与（必ず返還する必要あり）

入試案内 (2019年度参考)

2019年度入選抜試験については、中期選抜において30人を募集しました。また、欠員が発生したため、後期選抜を行いました。中期選抜・後期選抜ともに学力検査に加え、面接を実施しました。2020年度の募集等についての詳細は、京都市教育委員会と京都府教育委員会のHPなどで、ご確認ください。

京都市教育委員会 HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/kyoiku/>
京都府教育委員会 HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-be/>

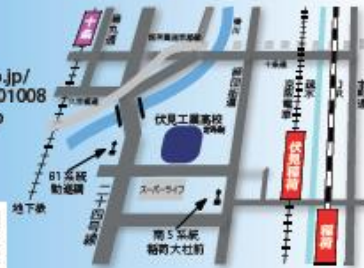
【問合せ先】

〒612-0011
京都市伏見区深草鈴塚町13
Tel: 075-641-5121 Fax: 075-641-5950
本校メールアドレス <http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=301008>
学校メールアドレス fushimi@edu.city.kyoto.jp

電話受付は13:30～21:00(平日)

【アクセス】

- 京阪伏見稲荷駅より 徒歩 5分
- JR稲荷駅より 徒歩 10分
- 地下鉄十条駅より 徒歩 12分



建築系・土木系・電気系

定時制という学びかた

- 1日4時間で週20時間の授業、4年間で卒業します。
- 1年次は普通教科が多く工業に関する授業は週に4時間です。
- 年次があがるにつれて工業に関する授業が増加します。

本校は京都府内唯一の定時制工業高校です。
ここでしかできない学びがあります。

京都市立伏見工業高等学校

定時制課程

工業技術科30名予定



2020年度 学校案内